

宛先: 参議院議員 川田龍平事務所 八木香さん ryuuhei_kawada@sangiin.go.jp

送信: 宮崎碩文 HMiyaz@msh.biglobe.ne.jp

日付: 2008/10/19 件名: 続: ぜん息調査情報の比較 : 文部科学省データ vs 都県データ

八木さん,

政策秘書: 松谷さんにお伝え頂きたく一報差し上げる次第です。
先日は環境省の見解をお知らせ下さいまして有難うございました。
大変参考にさせて頂きました。

しかしながら 当方の分析によると 次のような事柄が「不明確」に思えますが 如何お考え
でしょうか?

◎ 環境省(文科省調査データ)の見解によると「県のぜん息診断方法の差異による」との
由のようですが 県の「ぜん息既往症」データと比較しても大きな「隔たり」があります。
詳細は下記ページをご参照下さい。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~mmlab/omega/zensoku/DataComp/DataComparison01.htm>

◎ 次のページ掲載のように 東京都, 横浜市, 川崎市, 神奈川県下各市を見ると 区・市毎の
大きな「差異」は 地域環境に多大な相関関係があると考えます。
特に「ぜん息」等の環境依存性が問われる調査については 地域特性を勘案して調査対象
地域を精緻に勘案して分析することが望まれています。

http://www5d.biglobe.ne.jp/~mmlab/omega/zensoku/Apl01Zensoku_KanTo.pdf

http://www5d.biglobe.ne.jp/~mmlab/omega/zensoku/Apl01Zensoku_Rank_DivKanaTo.pdf

お手数をお掛けしますが 再度ご調査頂ければ幸いに存じます。

宮崎碩文 H20/2008/10/19

藤沢市石川696-1

Tel/Fax: 0466-87-5821

HMiyaz@msh.biglobe.ne.jp